



玉の舞

2378
253
13

豊國筆



時
2378
233

東西菴南北作

柙川重信画

上卷

天皇德統
玉屋貞統

寶篋印懺

合々ん三さん
あさりの

文政四己春
新板繪草紙

梓正 圓壽堂

菱草の教言と拾芥願小引

作者南北の

親孝行ハ我ガ子孫ノ為

悪ト又セヨル九十さんハマ
カクナリ善デアリマシ...

如ハ其身ノあど教

王屋ノ新心ニ及ガ版ハ
辰巳小あぬ年小女所

後悔ハ其前方ノ不案内

おんんとおんとおん
傀儡女とてあおろぐべ

奢者乃未世上死厄分

小蛇丸の拾利ハ百貫目破
腹ハききこふ川の六夜ま

家内和順福の神の祭

心も目も此磨のけんが前
心も目も此磨のけんが前



越前の大身実ハ
 天竺登空航一子
 柳塚九瀬川登之助
 とりあさり

施の居風呂
 さむしあく
 鳴 菊茶屋月舟



千客参来
汐見庵

花ふまのね
下駄まき
法師のね

玉屋

三

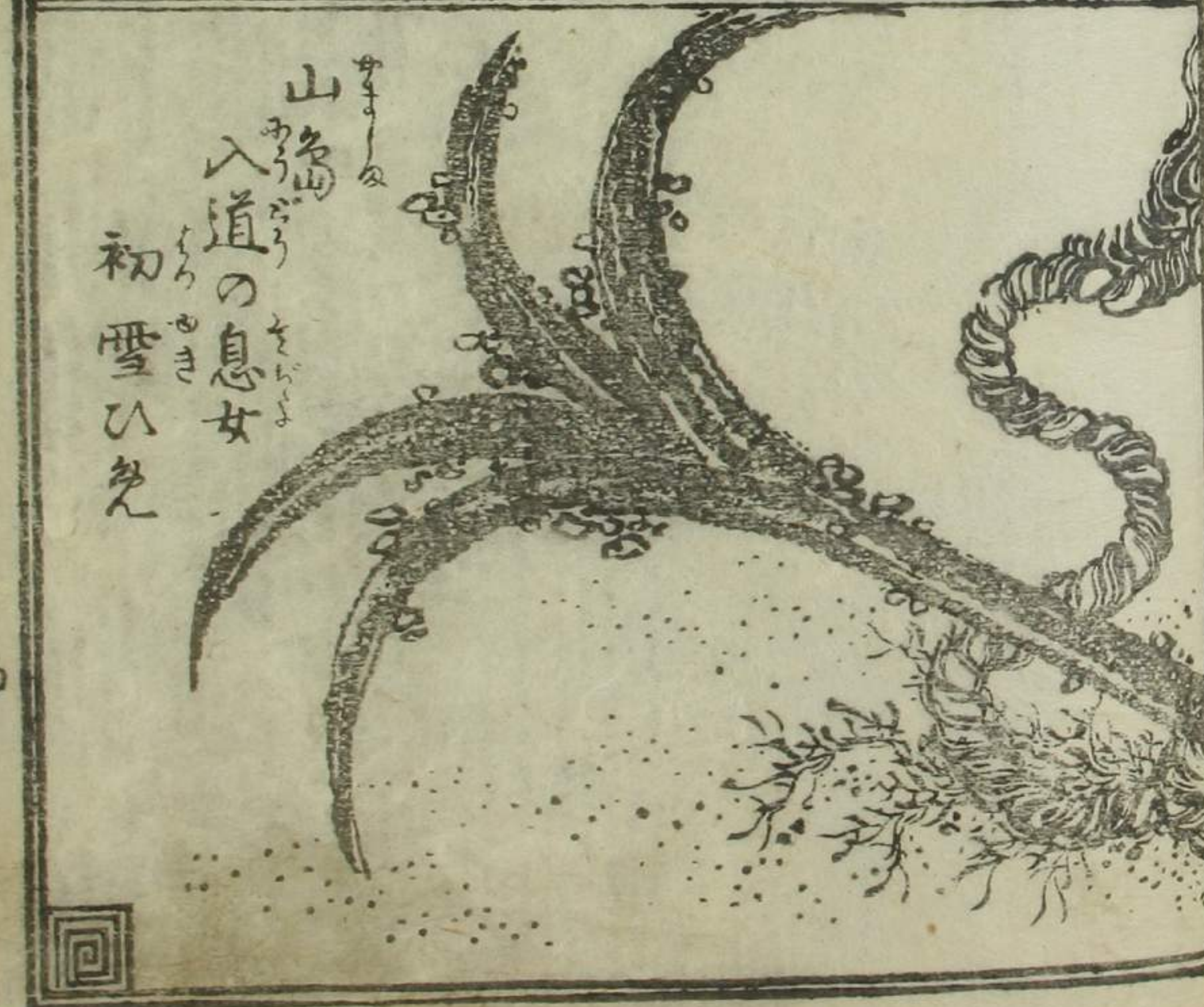
○ せがれ 涙のみ
○ 紙前三國
のりふらん
小女良
実の
○ 小島
息女
花ざね
ひま



雨中の
花
多んせいの傘よ
こびつく様うら
柙川陸

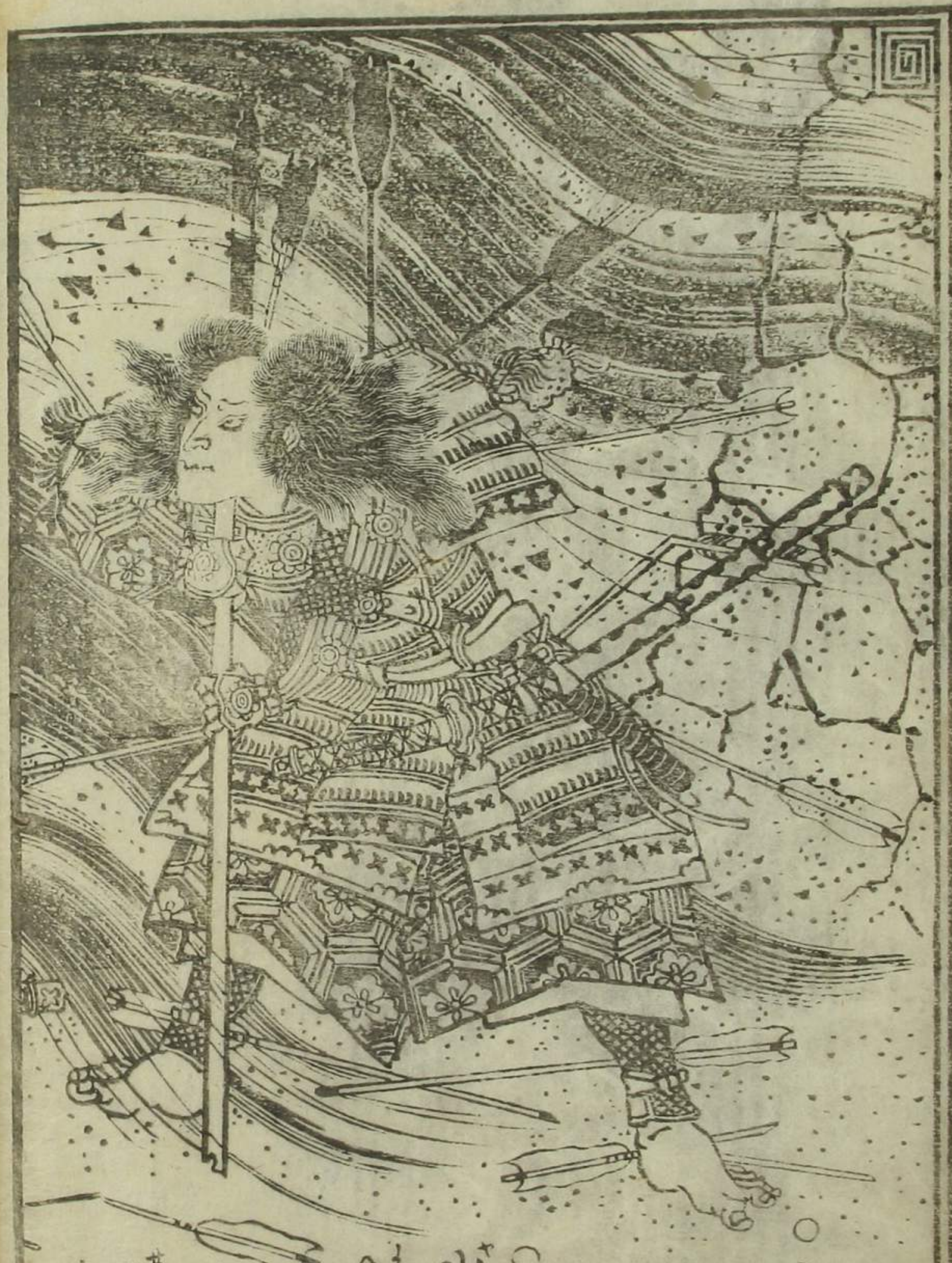
會

○ 紙前の町人玉屋
真兵衛
実の
小島
家しん
○ 小島
の息女
九世の
九重
良の



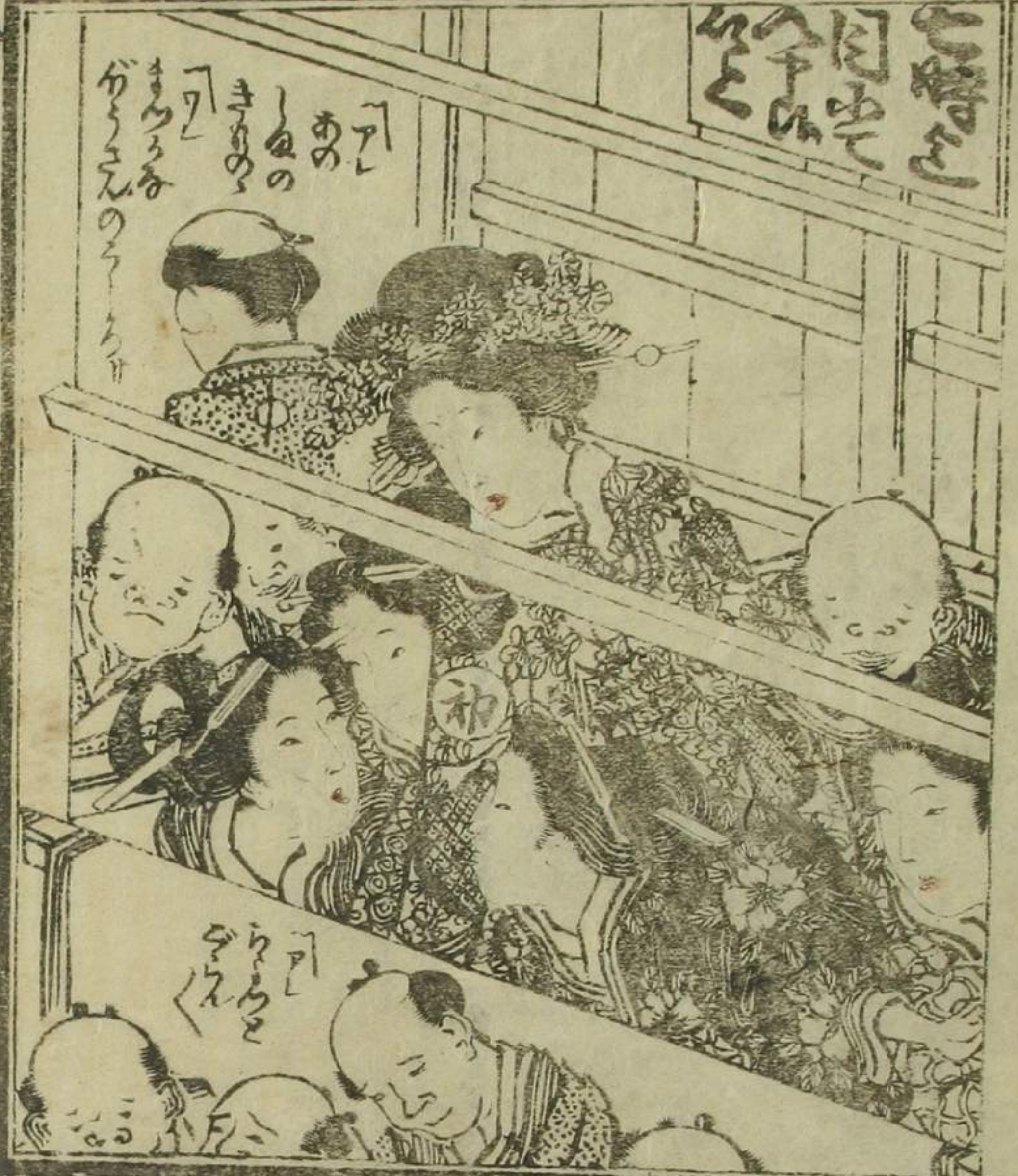


そまら儀と
言はぬが
あま



く戦血の雲白く
山々の島
死討せん
小島

月夜
今宵
月夜



△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...

△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...

△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...



△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...

△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...

△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...

△めめといひききつたの...
のひかりとんハツクどや...
上るまゝかゝるんハツクどや...



月の人をあつめて
 家より去りて何なるか
 下敷一人とつらと何なるか
 赤くの内をくりまわす
 月の人をまわす
 まじり山をめぐりて
 中すりのありふとせ
 白くあひさげん

五三三



月の人
 大男ハ何と云ふ
 月の人を
 月の人を
 月の人を
 月の人を
 月の人を
 月の人を

月の人をあつめて
 家より去りて何なるか
 下敷一人とつらと何なるか
 赤くの内をくりまわす
 月の人をまわす
 まじり山をめぐりて
 中すりのありふとせ
 白くあひさげん

七

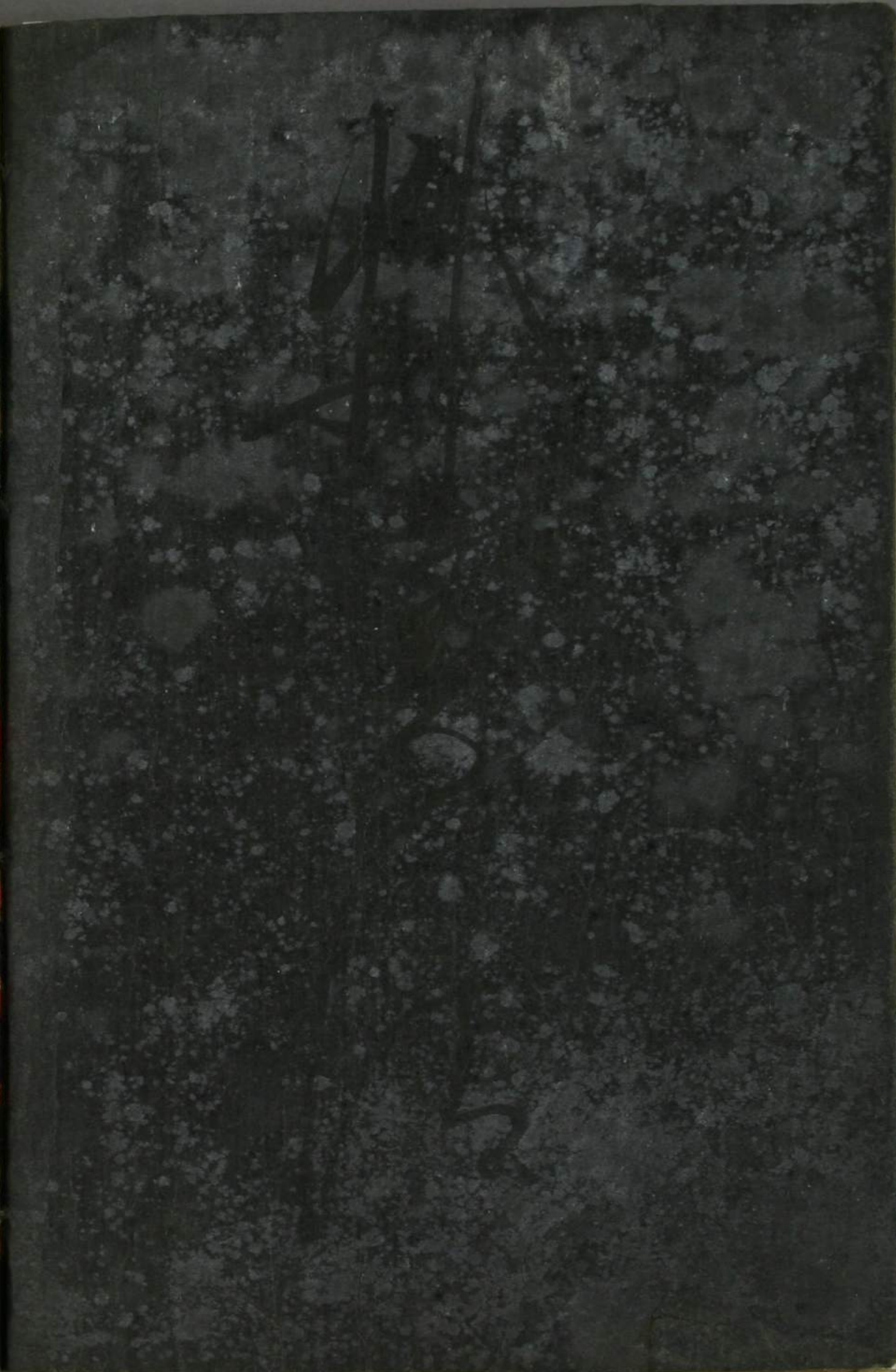
山にぬぎの...
 あんこ...
 山にぬぎの...
 あんこ...
 山にぬぎの...
 あんこ...



山にぬぎの...
 あんこ...
 山にぬぎの...
 あんこ...
 山にぬぎの...
 あんこ...



山にぬぎの...
 あんこ...
 山にぬぎの...
 あんこ...



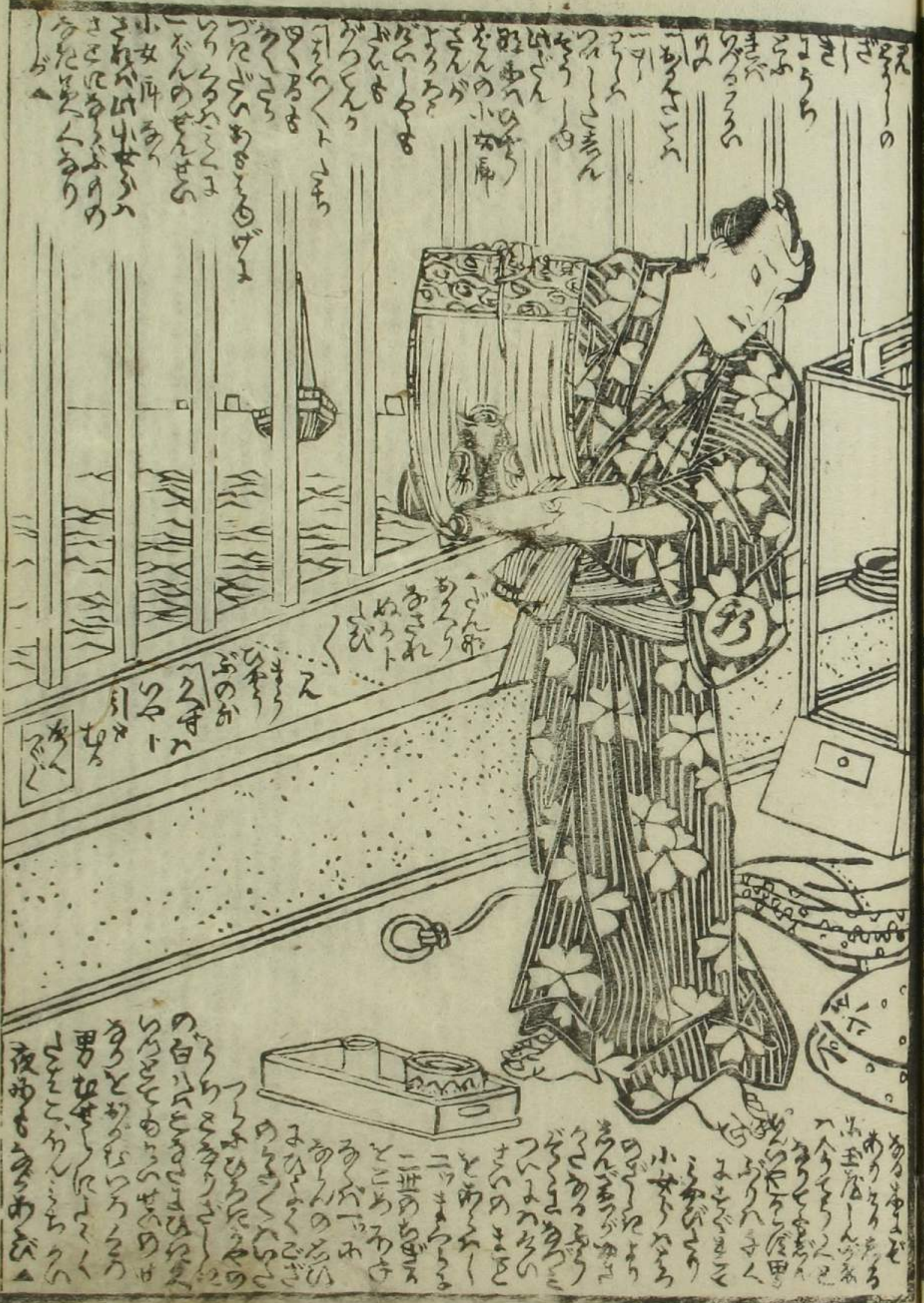
寶 壽 玉

中卷



玉

十一





此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 水に如く
 流るる如し
 一たび
 濁れば
 清く
 なる事
 稀なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり

五

十九



此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 水に如く
 流るる如し
 一たび
 濁れば
 清く
 なる事
 稀なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり

此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 水に如く
 流るる如し
 一たび
 濁れば
 清く
 なる事
 稀なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり
 故に
 人の心
 常に
 清く
 保たむ
 事
 至難なり

五

十九



己の
考ん板

東西菴南北作

甚

一



せい
 つ
 ち
 二
 七

三
 一
 一

その
 せい
 つ
 ち
 二
 七

お
 の
 せ
 い
 つ
 ち
 二
 七

こ
 の
 し
 ず
 け
 の
 せ
 い
 つ
 ち
 二
 七

お
 の
 せ
 い
 つ
 ち
 二
 七



お又王やまんの

小女うら

あふさん

九十九

おのちの

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた



三六

三六



山
子
辰



山
子
辰

辰
子
山



山東菴
 一 ぞくあや丸
 一 赤のあ
 一 玉のあ
 一 玉のあ
 一 玉のあ

め七
 た
 八



板元圓壽坐口上
 一 芙蓉散
 一 赤のあ
 一 玉のあ
 一 玉のあ

東西菴南北戯作

辰の丸八山... 家母の丸八山... ひととせ... ね玉... あり白八雷... ねとせ...

柳川重信画

板元
 一 芙蓉散
 一 赤のあ
 一 玉のあ

